



エコ発信局 秋・特集号

身近なところから環境意識を高める豆知識を配信する”エコ発信局

～いそちゃんの部屋～”は、今号は特集で佐原の町のレポートをお送りします。



SAWARA

水郷の町「佐原」で理想郷のような時間を過ごす

涼しい秋に小江戸にお出かけしませんか？

千葉から1時間で行ける北総の小江戸【佐原】。今回は「千葉大学 × 京葉銀行 eco プロジェクト」の【千葉をもっと知って楽しく】という企画で、2019年8月に環境ISO学生委員会の6人が千葉県香取市の佐原を散策し、その魅力を肌で感じてきました。佐原が位置する香取市は、豊かな自然と農産物、重要伝統的建物群保存地区に代表される多くの歴史的資源に恵まれた地域です。川を囲むように歴史的な建造物が立ち並ぶ江戸情緒あふれる町並みや、浴衣を着て散策、川下りなど非日常的な体験ができるのも魅力。もちろん美味しいグルメも盛りだくさん。毎日頑張る自分へのご褒美に、風情ある町「佐原」での特別な過ごし方をご紹介します！



佐原の古き町並みを水上散歩

江戸時代の風情が残る佐原の町並みの中心を流れる小野川では、川下りを楽しむことができます。一番の魅力は、【船頭さんのお話を聞きながら】景色を眺めることで、佐原の歴史を深く感じられる点です。川の両岸に残る古い石段は、江戸時代に船に荷を積むため実際に使用されていたもので、当時の佐原の繁栄ぶりが伝わってきます。ゆっくりと船に揺られながら、川の上を吹く心地よい風を感じたり、水面に浮かぶ白鳥を眺めたり・・・あなたも江戸時代の佐原に思いを馳せながら、水上散歩を楽しんでみませんか？

【参加学生の感想】

川の上という非日常的な場所から町並みや自然を楽しむことができ、とても新鮮でした。



古民家で歴史を体感する

“商家町ホテル NIPPONIA”は古民家の歴史的価値を尊重したりノベーションを行い、町並みを大切にしながら活用しているホテルです。コンセプトは【町全体を一つのホテルに見立てる】。町中に点在する古民家や蔵がホテルのフロント、客室、レストランなどの役割を担っています。

客室の役割を担う築100年以上の古民家ホテルに入ると、木の匂いやぬくもりが感じられ、安心感ややすらぎを得られます。また、部屋の中には時計やテレビが一切なく、日常から解き放たれた感覚を味わうこともできます。みなさんも、佐原を訪れて、古風な時間を楽しむのはいかがでしょうか。

【参加学生の感想】

古民家は想像以上に居心地が良く、どこか懐かしく感じました。今度は実際に宿泊してみたいと思いました。

地産地消の魅力を味わう
佐原では「商家町ホテル NIPPONIA」という暖簾をよく目にします。「町全体を一つのホテルに見立てる」というコンセプトで、町中にレストランや宿泊棟が点在しています。ホテルのフロント兼レストラン役の「GEISHO 棟」は【地元でとれた食材】をふんだんに使った創作フレンチをいただくことができる古民家レストランです。林 SPF ポークなどのブランド化された素材も使用され、香取市の基幹産業である農畜産業のアピールと地元食材の地産地消に貢献しています。このように、その土地で採れた食材を使うことは輸送時に排出されるCO₂の削減に役立ち、環境負荷削減にもつながります。



【参加学生の感想】
ゆったりした時間を過ごすことができたと共に、お料理を通して味覚で佐原の魅力を感じられました。また、地産地消で環境問題にも貢献でき、良いことをした気分になりました。

・「千葉をもっと知って楽しく」企画について

千葉県内には、千葉大学に通う学生でもあまり馴染みのない文化や特産品が多く存在します。それらを知ることで、千葉についての理解を深め、地域貢献と地産地消を結びつけることに繋がりたいという思いから生まれた企画です。この企画はただ調べるのではなく、文化や特産品に実際に触れた取材を行うことが特徴です。

アクセス：車：首都高速道路－湾岸市川IC－東関東自動車道－佐原香取IC
電車：東京駅－成田駅(JR 総武線快速)－佐原駅(JR 成田線)(約120分)
千葉駅－成田駅(JR 成田線快速)－佐原駅(JR 成田線)(約60分)
成田駅－佐原駅(JR 成田線)(約30分)
高速バス：JR 高速バス 佐原・麻生・銚田線 銚田駅行き(6番線乗車)(約80分)
千葉交通 銚子東京線 佐原ルート銚子駅行き(地下街20番出口乗車)(約100分)

協力：株式会社 NIPPONIA SAWARA 商家町ホテル NIPPONIA